

エコアクション 21

環境経営レポート

活動期間 2024年2月1日～2025年1月31日

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	
3. 環境経営方針	P.3
4. 環境経営目標	P.4
5. 環境経営計画	
6. 環境経営目標の実績	
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	P.5
8. 環境経営目標の推移	P.6
9. 実施体制	P.7
10. 社会貢献活動	P.8
11. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.9
12. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	P.11
13. 代表者による全体評価と見直しの結果	

作成日 2025年3月10日



株式会社 深津機器製作所

1. 組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 深津機器製作所 代表取締役 深津 和紀

2) 所在地

〒242-0018 神奈川県大和市深見西 1-4-17

3) 環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 深津 怜央

TEL 046-263-3131 FAX 046-264-4460

E-mail fukatsu2@jcom.zaq.ne.jp

4) 事業活動の内容

NCT、レーザー加工機を使用し金属の板材にフラック加工、曲げ加工、溶接加工により通信機器の筐体を製作。

5) 事業規模

活動規模	単位	2023年度	2024年度
従業員	人数	21	21
床面積	m ²	726	726

*備考：事業年度 当年2月～次年1月

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

1) 対象事業所

本社・工場の全組織、全従業員

2) 対象事業活動

通信機器筐体製造

環 境 経 営 方 針

株式会社深津機器製作所は、通信機器筐体製造において、環境に配慮した事業活動を行い、次世代へのより良い地球環境の継承に貢献します。

この実現の為に、以下の環境方針を定め、環境保全活動を推進します。

1. 事業活動が環境に与える影響を確認し、人的、技術的、及び経済的に可能な範囲内で環境目標を設定し環境保全活動の継続的な改善及び汚染の予防に精進致します。
2. 地球環境の悪化を防止する為に、下記の活動に取り組みます。
 - 二酸化炭素排出量の削減（省エネルギーの推進）
 - 廃棄物の削減、リサイクルの推進
 - 排水量の削減
 - 製品歩留まりの改善(省資源の推進)
3. 環境関連の法規制を遵守し適切な環境管理状態の維持、向上を図ります。
4. 環境教育を通じて、全社員にこの環境方針を周知するとともに、環境保全に関する意識の向上を図ります。

4 版 2024 年 3 月 1 日
株式会社 深津機器製作所
代表取締役 深津 和紀

初版制定 2015 年 8 月 26 日
2 版改正 2016 年 3 月 10 日 「製品に含有する有害化学物質の削減」を削除
3 版改正 2018 年 3 月 1 日 「環境方針」から「環境経営方針」に名称変更
4 版改正 2024 年 3 月 1 日 「グリーン購入の推進」を活動内容から削除

4. 環境経営目標

2024 年度 環境経営目標

承認	作成
2024/3/5	2024/3/5
深津	深津(怜)

環境目標	基準(実績)		年度目標	中期目標	
	2024 年度		2025 年度	2026 年度	
	絶対値	売上高 原単位	売上高 原単位	売上高 原単位	
1. 二酸化炭素排出量の削減	729,73kg -CO ₂	307.3kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 307.3kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 330.9kg -CO ₂ /M 円	
1.1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	156,519kWh 65,424kg -CO ₂	509.8kWh/M 円 213.1kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 504.7kWh/M 円 210.9kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 504.7kWh/M 円 210.9kg -CO ₂ /M 円	
1.2 灯油使用量の削減	380L 946kg -CO ₂	1.23L/M 円 3.08 kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 1.23L/M 円 3.08kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 1.21L/M 円 3.04kg -CO ₂ /M 円	
1.3 都市ガス使用量の削減	318m ³ 686kg-CO ₂	1.036m ³ /M 円 2.2kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 1.036m ³ /M 円 2.2kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 1.25m ³ /M 円 2.17kg -CO ₂ /M 円	
1.4 ガソリン使用量の削減	2,549L 5,915kg -CO ₂	8.3 L/M 円 19.2 kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 8.3L/M 円 19.2kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 8.2L/M 円 19.0kg -CO ₂ /M 円	
2. 一般廃棄物排出量の削減	433kg	1.4kg/M 円	現状維持(100%) 1.4kg/M 円	1%削減(99%) 1.38kg/M 円	
3. 水資源投入量の削減	193m ³	0.629m ³ /M 円	現状維持(100%) 0.629m ³ /M 円	1%削減(99%) 0.622m ³ /M 円	
4. 客先不良件数の削減	不良件数 10 件	不良件数 10 件	不良件数 10 件	不良件数 10 件	

注(1)購入電力の CO₂ 排出係数:0.418(日本テクノ 2019 年度値(調整後排出係数))、2024 年度売上 270M 円

注(2)PRTR 物質不使用の為、化学物質使用量削減は環境目標としない。

注(3)産業廃棄物の排出はない為、産業廃棄物の削減は環境経営目標としない。

注(4)中期計画が 2023 年度で終了したため、新規の環境経営目標を策定した。

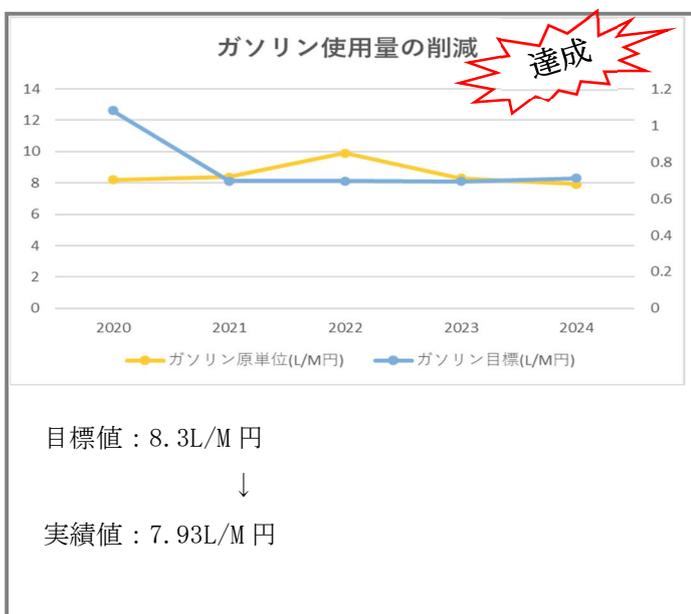
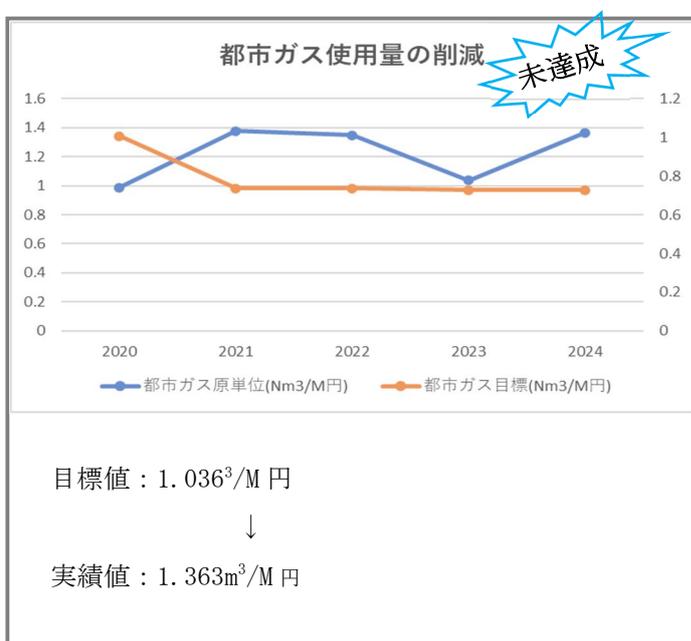
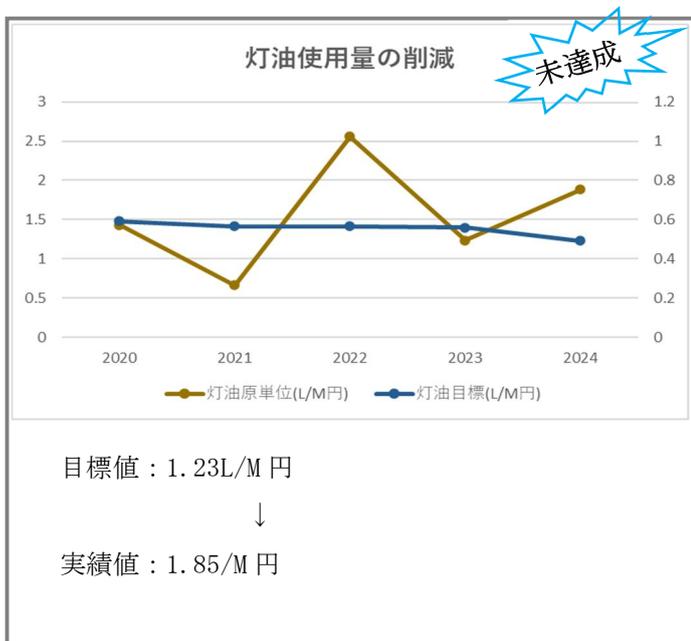
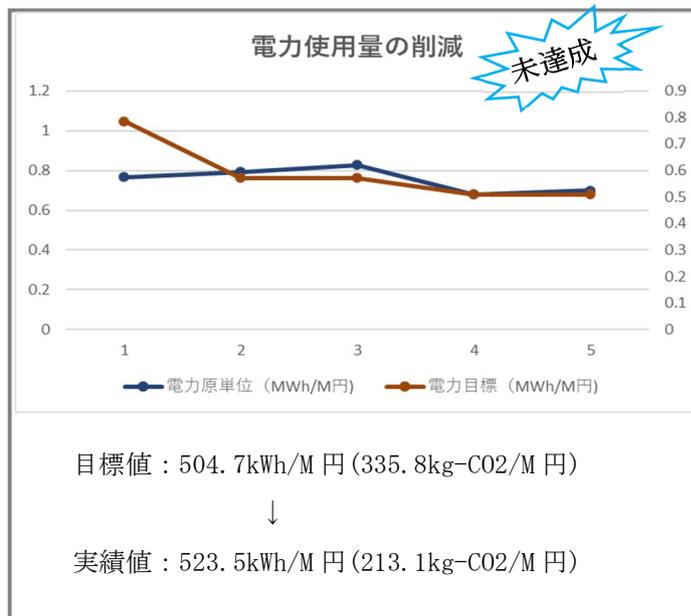
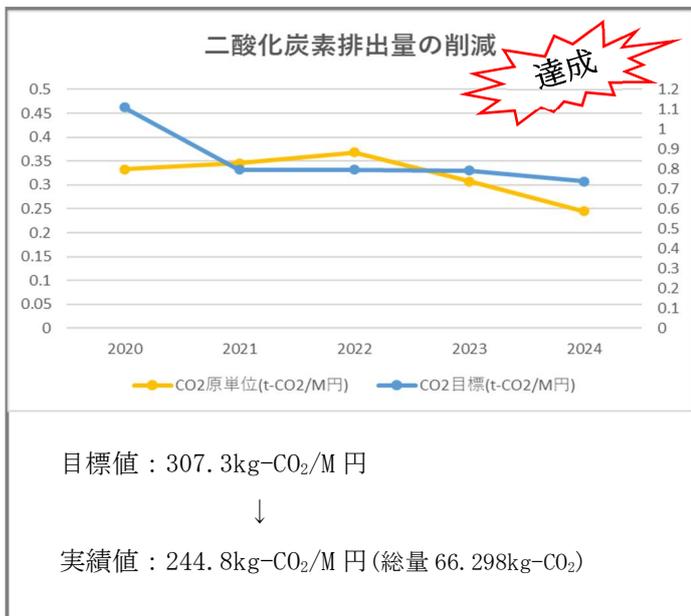
5. 環境経営計画
 6. 環境経営目標の実績
 7. 環境経営計画の取組結果とその評価

2024年(2024年2月～2025年1月)

No.	環境経営計画	2024年度目標	2024年度実績	評価	達成の要因 未達成の原因	未達成の場合の是正措置及び 予防措置 ・次年度活動
1	二酸化炭素排出量の削減 ・電力使用量の削減 ・ガソリン使用量の削減 ・灯油使用量の削減	307.3kg -CO ₂ /M円	244.8kg -CO ₂ /M円 (総量 66,098kg-CO ₂)	○	・全体的な効率化が数字として表れた。	・売上は減少してしまっただが全体的に使用量の削減効果が出たと判断する。
1.1	電力使用量の削減 ・紐スイッチの励行 ・エアコンの間引き運転 ・エアコンの温度設定の最適化	504.7kWh/M円 240.9kg-CO ₂ /M円	523, 5kWh/M円 218, 8kg-CO ₂ /M円	×	・電力会社の変更と基本料金の値上げが大きな要因となった。	最新の省エネ機械に変更したが電気料金の値上げが大きく未達となった。
1.2	灯油使用量の削減 ・始業時のみ限定使用	1.23L/M円 3.08 kg-CO ₂ /M円	1.85L/M円 4.611kg-CO ₂ /M円	×	・灯油の値上げ、昨年の残量もなかったため、灯油の購入回数が増加した	・継続し冬季始業時のみの使用を推奨し次年は1%削減を目標とする。
1.3	都市ガス使用量の削減 ・ガラストープの温度設定の最適化	1.036m ³ /M円 2.2kg-CO ₂ /M円	1.363m ³ /M円 2.94kg-CO ₂ /M円	×	・売上高原単位だと未達となった。	・ガスの使用は限定的な為、大きく変動しないと想定する。売上原単価だと未達になるのは想定済
1.4	ガソリン使用量の削減 ・アイドリングストップの実行 ・燃料記録 ・エコ運転十か条の励行 ・燃費管理	8.3L/M円 19.2kg-CO ₂ /M円 8.02 km/ℓ	7.93L/M円 18.4kg-CO ₂ /M円 8.23 km/ℓ	○	・アイドリングストップは設備が付いていないので実施していない。 ・エコドライブを励行し、昨年より使用量が減ったこともあり達成。	・燃費を意識しながらのエコドライブの励行により、次年度は同等数値目標とする。
2	一般廃棄物排出量の削減 ・一般廃棄物の分別 ・カトラリー類の旧版持ち帰り	1.4kg/M円	1.8kg/M円	×	・シュレッダー、段ボールは市の資源回収したが未達成	・ごみの削減を意識し次年度も同等数値目標とする。
3	水資源投入量の削減 ・配管水漏れチェック ・節水コマの使用	0.629m ³ /M円	0.678 ³ /M円	×	・全社で節水意識を持っていたが、目標未達	・組織全体の節水意識励行により、次年度は1%削減目標とする。
4	客先不良件数の削減 ・不良件数	10件	12件	×	・全体会議や朝礼で問題周知を行っていたが目標を未達となった。	・10件以下を目指す。

報告手順：担当者が結果確認記入→環境管理責任者が評価・原因究明・是正・対応策記入→代表者

8. 環境経営目標の推移

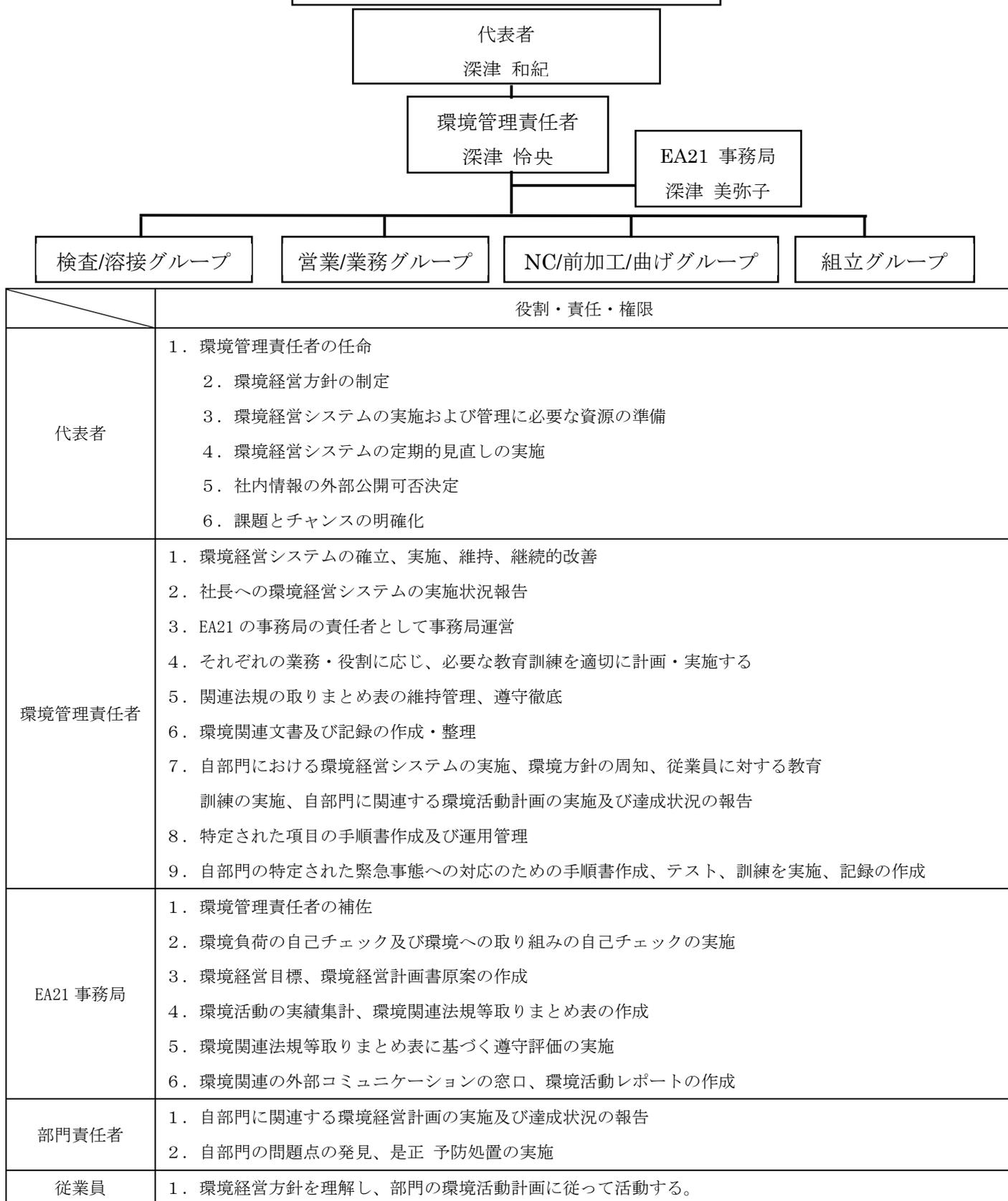


削減内容	目標値	実績値
一般廃棄物排出量の削減	1.4kg/M円	1.863kg/M円
水資源投入量の削減	0.629m ³ /M円	0.678m ³ /M円
客先不良件数	10件	12件

一部達成

9. 実施体制

実施体制及び責任・権限表



(回覧ルート) 社長→環境管理責任者→全部門責任者 改訂履歴

改訂数	改訂理由	改訂月日	承認	作成者
1	初版制定	2015/8/26	深津 和紀	深津 美弥子
2	2版改正 環境管理責任者を変更	2018/6/1	深津 和紀	深津 怜央
3	代表者6項を追加、社内編成に伴い権限表に前加工グループを追加	2024/7/3	深津 和紀	深津 怜央

地域との環境コミュニケーション

当社では、地域社会との良好な関係構築と環境保全への貢献を目的として、近隣企業の皆様と連携し、定期的に会社周辺の清掃活動を行っております。

- ・大和市地域工業会にて地域周辺の清掃に参加しました。
当社社員に加え、大和市様、近隣の会社様と共に地域の空き缶や落ち葉の回収、歩道の清掃などを行いました。
このような活動を通じて、地域の環境美化に貢献するとともに、企業間の交流や地域住民の皆様との信頼関係の構築にもつながったと考えております。今後も引き続き、地域との協力を大切にしながら、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。



社内の5S活動

毎月社内の定期清掃を実施しております。

当社では、職場環境の整備と業務効率の向上を目的に5S活動（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を全社的に推進しています。その一環として、毎月定期的に設備点検を実施し、職場の安全性や機器の正常稼働状況を確認しています。

こうした地道な取り組みにより、故障やトラブルの未然防止につながるとともに、従業員一人ひとりの安全意識や5Sに対する意識向上にも貢献しています。

今後も、5S活動を継続・強化することで、より安全で快適な職場づくりと生産性の向上を目指してまいります。

11.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

4. 環境経営目標

2025 年度 環境経営目標

承認	作成
2025/3/5	2025/3/5
深津	深津(怜)

環境目標	基準(実績)		年度目標	中期目標	
	2023 年度		2025 年度	2026 年度	
	絶対値	売上高 原単位	売上高 原単位	売上高 原単位	
1. 二酸化炭素排出量の削減	72973kg -CO ₂	307.3kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 307.3kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 330.9kg -CO ₂ /M 円	
1.1 電力使用量の削減 ⁽¹⁾	156,519kWh 65,424kg -CO ₂	509.8kWh/M 円 213.1kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 504.7kWh/M 円 210.9kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 504.7kWh/M 円 210.9kg -CO ₂ /M 円	
1.2 灯油使用量の削減	380L 946kg -CO ₂	1.23L/M 円 3.08 kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 1.23L/M 円 3.08kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 1.21L/M 円 3.04kg -CO ₂ /M 円	
1.3 都市ガス使用量の削減	318m ³ 686kg-CO ₂	1.036m ³ /M 円 2.2kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 1.036m ³ /M 円 2.2kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 1.25m ³ /M 円 2.17kg -CO ₂ /M 円	
1.4 ガソリン使用量の削減	2,549L 5,915kg -CO ₂	8.3 L/M 円 19.2 kg -CO ₂ /M 円	現状維持(100%) 8.3L/M 円 19.2kg -CO ₂ /M 円	1%削減(99%) 8.2L/M 円 19.0kg -CO ₂ /M 円	
2. 一般廃棄物排出量の削減	433kg	1.4kg/M 円	現状維持(100%) 1.4kg/M 円	1%削減(99%) 1.38kg/M 円	
3. 水資源投入量の削減	193m ³	0.629m ³ /M 円	現状維持(100%) 0.629m ³ /M 円	1%削減(99%) 0.622m ³ /M 円	
4. 客先不良件数の削減	不良件数 10 件	不良件数 10 件	不良件数 10 件	不良件数 10 件	

注(1)購入電力の CO₂ 排出係数:0.418(日本テクノ 2019 年度値(調整後排出係数))、2023 年度売上 307M 円

注(2)PRTR 物質不使用の為、化学物質使用量削減は環境目標としない。

注(3)中期計画が 2023 年度で終了したため、新規の環境経営目標を策定した。

注(4)グリーン購入数は目標から削除した。

12.次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営計画

2025年（2025年2月～2026年1月）

No.	環境活動計画
1	二酸化炭素排出量の削減 ・電力使用量の削減 ・ガソリン使用量の削減 ・灯油使用量の削減
1.1	電力使用量の削減 ・不必要な場所の照明器具のスイッチ OFF ・エアコンの間引き運転 ・エアコン温度設定最適化
1.2	灯油使用量の削減 ・始業時のみ限定使用
1.3	都市ガス使用量の削減 ・ガスストーブの温度設定の最適化
1.4	ガソリン使用量の削減 ・アイドリングストップの実行 ・燃費記録 ・エコ運転十か条の励行 ・燃費管理
2	一般廃棄物排出量の削減 ・一般廃棄物の分別 ・カタログ類の旧版回収
3	水資源投入量の削減 ・配管水漏れチェック ・節水コマの使用
4	自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目 客先不良件数の削減 ・社内研修会

報告手順:

担当者が結果確認、記入→責任者(環境管理責任者)が評価・原因究明・是正・対応策記入→代表者

13. 環境関連法の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）
騒音・振動規制法	空気圧縮機
廃棄物処理法	事業系一般廃棄物、産業廃棄物
消防法	消火器具の配置
労働安全法	安全衛生推進者の選定

* 環境関連法規等の遵守状況を、自ら製作した環境関連法規等一覧表及び遵守状況確認表を用いて確認し評価した結果、環境関連法規等への違反、訴訟は有りませんでした。尚、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟、近隣からの苦情等は過去5年間ありません。

12. 代表者による全体評価と見直し結果

(1) 【全体評価】

エコアクション21の取組みは9年となり、全体として、当社の環境経営活動は有効に機能しており、重大な不適合やインシデントは発生しておらず、法令順守も維持されています。本年度は環境目標については未達成が多かったが、次年度以降に向け改善活動継続中です。また、社員の環境意識向上にも一定の成果が見られました。

(2) 【見直しの結果】

2023年度の実績を基準値とし、3年間の中期計画目標を立てました。

電力会社変更による値上げや電気料金の高騰など未達成が目立ちましたが、

今後は、より高いレベルの環境パフォーマンスを目指し、次の取り組みを重点的に進めてまいります

- ・環境目標の未達成項目に対する原因分析と再設定
- ・環境教育の充実による社員意識のさらなる向上
- ・電力監視モニタ活用による電力データの見える化と効率的な管理

これらを通じて、環境負荷の低減と企業価値の向上を両立させる持続可能な経営を推進してまいります。